

バーコード／RF-IDを活用している病院情報システム

※注意事項 本資料は閲覧用に記載を一部変更しております。

2021年2月22日 更新

No.	分類	システム名 ／バージョン (ベンダー)	機能名	病院	コード体系 データキャリア	機能概要	課題・問題
1	注射	注射支援システム A社	注射剤取り揃え	A病院	ローカルコード GS-1(GTIN)	注射剤取り揃え	・薬品マスタにGS1コードを登録する項目はある。 2019/7/30ではこのGS1コードを登録する項目には何も入れていない。 薬品照合や帳票等ではGS1コードを使用していない。
2	処方	薬剤部門システム B社	散剤監査システム 錠剤包装機充填確認	A病院	ローカルコード GS-1	・調剤支援、服薬指導、麻薬管理	・散薬監査システム、混注監査システムにおいて、JANコード、GS-1コード ・錠剤カセット充填システムにおいて、GS-1コードを使用している
3	物流	物流管理システム C社	入庫管理	A病院	GS-1	単独（入出庫のみ）	・出庫管理はローカルコード
4	輸血	輸血管理システム D社	輸血マスタ	A病院	・輸血バックの2次元バーコード(日赤) ・【new】輸血バックの2次元バーコード(NDD)	-	・GS1が使用されているのは左記の2点 ・マスタには使用していません。 ・バーコードの規格は「TBCCHKM」というマスターで制御しているが、特殊なバーコード(GS1の2次元等)についてはプログラムで対応している
5	注射	電子カルテシステム E社	点滴・注射・3点認証	B病院	オーダー番号（ローカル、患者番号）	点滴実施時に指示と点滴内容があるか確認する	MegaOak-M3とマスタ連携が出来ていない
6	医事会計	医療事務システム F社	医事会計	B病院	ローカルコード	医事会計時に、患者番号を基本カードから読み取っている	MegaOak-M3とマスタ連携が出来ていない
7	物流	物流管理システム F社	請求・払出・発注・納品	B病院	ローカルコード GS1-128	入荷時のロット逆転のチェック 臨時出庫時の照合 など	調剤支援システムと在庫連携が必要(双方で在庫管理)
8	処方	調剤支援システム G社	払出・照合作業	B病院	ローカルコード GS1-128	ピッキングリストや処方箋と医薬品のGS1で照合 など	MegaOak-M3と在庫連携が必要(双方で在庫管理)
9	手術	手術管理システム H社	患者別消費実績	B病院	GS1-128	術式定数の検品と手術後の使用実績をRFIDで実施	準備品以外の医療機器の使用実績 アルミ包装の医療機器
10	物流	物流管理システム I社	購入・払出 消費管理	C病院	GS-1 包装単位 医療材料一部 RF-ID	消費・コスト管理・追跡管理	-
11	処方	電子カルテシステム I社	医薬品の請求管理	C病院	GS-1 包装単位	発注・出庫・棚卸	-
12	輸血	血液浄化療法業務システム J社	透析管理	C病院	ローカルコード	-	-
13	手術	滅菌システム K社	滅菌オーダ管理	C病院	鋼製器具RF-ID	鋼製器具のトレーサビリティ	-
14	注射	電子カルテシステム I社	注射実施	C病院	オーダー番号（ローカル） 患者ID（リストバンド）	点滴・注射・3点認証	-
15	注射	電子カルテシステム I社	注射実施	C病院	GS-1 調剤包装単位	インスリン実施入力	-
16	輸血	輸血検査システム I社	輸血検査・製剤管理	C病院	輸血バックバーコード	実施管理	-
17	手術	手術部門システム I社	手術管理	C病院	ローカルコード	術中機材管理	-

18	処方	薬剤部門システム L社	薬剤部業務制御管理	C病院	GS-1	処方・注射オーダー 処方解析・処方箋出力 各機器制御	-	
19	処方	薬剤部門システム L社	調剤支援システム	C病院	GS-1 調剤包装単位 GS-1 販売包装単位	調剤支援システム 薬剤部調剤薬在庫期限管理	-	
20	注射	電子カルテシステム I社	点滴・注射・3点認証	D病院	オーダー番号（ローカル） NW7	点滴実施時に指示と点滴内容が あっているか確認する	-	※電子カルテ分
21	注射	電子カルテシステム I社	リストバンド印刷	D病院	患者番号 NW7	注射認証や輸血認証時の患者番号 の読み取りに使用	-	※電子カルテ分
22	検査	電子カルテシステム I社	検体ラベル	D病院	オーダー番号（ローカル） NW7	採取検体の受付に使用	-	※電子カルテ分
23	検査	電子カルテシステム I社	病理ラベル	D病院	オーダー番号（ローカル） NW7	採取検体の受付に使用	-	※電子カルテ分
24	処方	電子カルテシステム I社	院外処方せん	D病院	院外処方箋内容（JAHIS規 約準拠） QRコード	調剤薬局のシステムで、院外処方 せん内容の読み取りに使用	-	※電子カルテ分
25	輸血	輸血部門システム I社	輸血認証	D病院	日赤製剤ロット番号 NW7	輸血実施時に指示と日赤製剤が あっているか確認する	-	※電子カルテ分
26	放射線	放射線RISシステム I社	患者認証	D病院	患者ID NW7	検査時の患者認証に使用	-	※電子カルテ分
27	放射線	放射線治療RISシステム I社	患者認証	D病院	患者ID NW7	検査時の患者認証に使用	-	※電子カルテ分
28	処置	リハビリ部門システム I社	リハビリ処方箋	D病院	患者番号 NW7	リハビリ処方箋からの患者番号読 み取りに使用	-	※電子カルテ分
29	医事会計	医事会計システム I社	再来受付票	D病院	患者番号 NW7	キオスク端末での患者識別に使用 しています	-	※電子カルテ分
30	医事会計	医事会計システム I社	定期請求書／退院時請求書	D病院	患者番号 CODE-39	自動精算機での患者識別に使用し ています（診察券の代わり）	-	※電子カルテ分
31	医事会計	医事会計システム I社	領収書（自動精算機のみ）	D病院	不明 QRコード	駐車場無料化システムで使用して います	-	※電子カルテ分
32	医事会計	医事会計システム I社	会計番号券	D病院	会計番号 NW7	会計表示盤の番号点灯、消灯に使用 しています	-	※電子カルテ分
33	電子カルテ	病歴資料管理システム M社	画像CD（DVD）ラベル シール	D病院	カルテ番号／患者番号 NW7	他院、自院の画像CD（DVD） の管理に使用しています	-	※電子カルテ分
34	検査	検体検査システム N社	検体到着確認業務	D病院	検体番号 NW-7	検体に貼ってあるラベルのバー コードを読み込んで検体の到着処 理を行う	-	※部門システム分
35	検査	検体検査システム N社	入力	D病院	検体番号 NW-7	システム上で検体に貼ってあるラ ベルのバーコードの番号を読み込 むことで入力の簡素化をはかる	-	※部門システム分
36	検査	細菌検査システム N社	検体到着確認業務	D病院	オーダー番号 NW-7	検体に貼ってあるラベルのバー コードを読み込んで検体の到着処 理を行う	-	※部門システム分
37	放射線	統合画像情報システム O社	-	D病院	-	対象無し	-	※部門システム分

38	放射線	統合画像情報システム P社	-	D病院	-	対象無し	-	※部門システム分
39	電子カルテ	耳鼻科ファイリングシステム Q社	患者ID指定	D病院	患者ID CODE-128	患者ID手入力を省く	-	※部門システム分
40	電子カルテ	文書管理システム Q社	文書スキャン	D病院	QRコード	スキャン依頼票を使用することで患者情報や文書種別の入力を省く	-	※部門システム分
41	検査	病理検査システム R社	-	D病院	-	対象無し	-	※部門システム分
42	電子カルテ	栄養管理システム S社	-	D病院	-	対象無し	-	※部門システム分
43	電子カルテ	看護部門管理システム T社	-	D病院	-	対象無し	-	※部門システム分
44	処置	透析通信システム U社	患者認証	D病院	GXの入院患者バーコード	GXで発行された入院患者バーコード(手首に巻かれた物)を読み取り、透析通信システムの体重計システムにて、患者認識を行う	特に無し	※部門システム分
45	電子カルテ	診察待表示システム V社	順番検索	D病院	NW-7	患者様にて診察券を読み取り、診察待ち状況を確認する	診療の内容により、順番が前後するため、あくまで目安の情報でしかない	※部門システム分
46	処方	調剤支援システム W社	錠剤分包機、 散薬調剤ロボット	D病院	RFID	錠剤カセット、散薬カセットに薬品を充填する際のチェック	-	※部門システム分
47	処方	調剤支援システム W社	錠剤分包機、 散薬調剤ロボット	D病院	JAN、GS1	錠剤カセット、散薬カセットに薬品を充填する際のチェック	-	※部門システム分
48	処方	調剤支援システム W社	散薬監査システム	D病院	JAN、GS1	秤量する薬品のチェック	-	※部門システム分
49	処方	調剤支援システム W社	散薬監査システム	D病院	トレイNo(散薬監査システムで発番) ITF	散薬分包機にて該当の処方と呼び出す際に使用	-	※部門システム分
50	処方	調剤支援システム W社	処方箋	D病院	処方No(調剤システムで発番) (CODE39)	散薬監査システムにて該当の処方と呼び出す際に使用	-	※部門システム分
51	処方	調剤支援システム W社	麻薬管理システム	D病院	オーダー番号(電子カルテから発行) (NW-7)	麻薬管理システムにて該当の処方と呼び出す際に使用	-	※部門システム分
52	処置	内視鏡部門システム I社	患者ID認証	D病院	CODE-128 NW-7	装置でオーダー情報を取得し、検査開始状態にする。 (HISの帳票に印刷されているバーコードを使用しています。複数のコード体系を読み取り可能に設定しています)	無し	※部門システム分
53	処置	内視鏡部門システム I社	スコープID認証	D病院	CODE-128	①使用したスコープの情報を登録する。 ②洗浄する際に読み取り洗浄履歴を登録する。	無し	※部門システム分
54	検査	機能検査ファイリングシステム/脳波解析システム X社	検索	D病院	患者ID	専用端末でバーコード読み取り時、患者一覧から該当患者を絞り込み。	-	※部門システム分
55	検査	機能検査ファイリングシステム/脳波解析システム X社	検索	D病院	オーダー番号	専用端末でバーコード読み取り時、患者一覧からスキャナ登録画面・オフラインデータ登録画面へ遷移する	オーダー番号の読み込む元媒体がないため、今機能は使用していない	※部門システム分

56	検査	機能検査ファイリングシステム/脳波解析システム X社	オーダー取得	D病院	患者ID	心電計、運動負荷試験装置などで、患者IDをバーコード読み取りをした際、オーダー情報を受信し、心電計画面上にオーダー情報を表示する	-	※部門システム分
57	電子カルテ	電子カルテシステム Y社	受付（診察券）	E病院	患者番号（ローカル）NW-7	患者の診察券に利用	受付機でバーコード対応が必要	
58	電子カルテ	電子カルテシステム Y社	受付・各科受付	E病院	患者番号（ローカル）CODE-128	患者の受付及び各科受付確認に利用	-	
59	検査	電子カルテシステム Y社	検査・診療誘導案内	E病院	患者番号（ローカル）CODE-128	患者の誘導・動線・受付状況管理	-	
60	注射	電子カルテシステム Y社	実施確認・3点認証	E病院	指示番号（ローカル）CODE-128 一部の薬品確認でGS-1を利用	注射等の実施確認 利用状況の把握	リストバンドや薬品のバーコードが斜めになる場合があり、読み取り精度が課題	
61	検査	検査部門システム Z社	検体管理	E病院	オーダー番号（ローカル）CODE-128	採血等の検体の管理と自動化	-	
62	検査	採血管理システム a社	採血患者受付管理	E病院	指示番号（ローカル）CODE-128	採血順番の管理と誘導	-	
63	輸血	輸血管理システム b社	製剤管理	E病院	指示番号（ローカル）CODE-128	血液製剤・自己血管理	-	
64	注射	電子カルテシステム I社 携帯端末システム I社	注射3点認証（実施入力）	F病院	患者リストバンド： 患者ID（ローカル） RFタグ（I-CODE SLI）およびNW-7 外来患者呼出受信機 患者ID（ローカル） NW7 注射ラベル： オーダー番号＋版数（ローカル） RFタグ（I-CODE SLI）およびNW-7	注射実施時に、オーダー番号＋版数から適時かつ有効な指示であるかを確認し、患者リストバンドの患者IDと照合する。一致した場合、オーダーの詳細を表示し、PDAログイン者での実施入力を行い、電子カルテに記録する。持続点滴の終了時には、再度、注射ラベルのRFIDを読み込み終了記録を作成する。 ※外来患者の場合は、外来患者呼出受信機の電子ペーパーに表示されるバーコードで患者認証する。	・厳密には、「注射ラベル」と「患者リストバンド」による認証であり、薬剤自身の認証ではないため、注射ラベルが正しい薬剤に貼付されていること、患者リストバンドが患者本人に確実に装着されていることを別工程で担保する必要がある。	注射認証
65	注射	電子カルテシステム I社 携帯端末システム I社	注射認証（病棟受け入れ時の薬剤確認）	F病院	職員ネームカード： 患者ID（ローカル） RFタグ（I-CODE SLI）およびNW-7 注射ラベル： オーダー番号＋版数（ローカル） RFタグ（I-CODE SLI）およびNW-7	薬剤部から払い出された注射の病棟での受け入れ時に、払い出された注射薬剤と認証用注射ラベル、病棟で主治医が発行した注射指示書の3つの記載を確認し、指示通りの薬剤、認証ラベルであることを職員2名で確認し、2人目の確認者のネームカードをPDAで読み込み、チェック記録を電子カルテに作成する。（1人目はPDAのログイン者）	・薬剤の確認は、職員2名による読み合わせと目視確認であるため、人的間違いの要素が残存する。	注射ダブルチェック

66	輸血	輸血管理システム c社	血液製剤・自己血液剤の入庫・出庫管理	F病院	血液製剤： NW-7、GS1データバー合成シンボル（日赤発行、自己血の場合はローカル） 院内製剤番号： RFタグ(I-CODE SLI)およびNW-7	血液製剤を輸血部に入庫する際に、製剤パックのGS1データバー合成シンボルを読み込む。院内でのRFタグによる3点認証用の院内製剤番号（ローカルコード）を番号し、製剤入庫時に認証ラベルを取り付ける。 輸血部からの現場への払い出しには、ローカルコードの製剤番号のバーコードを読み取り処理する。	・血液製剤にはGS1データバー合成シンボルが貼付されているが、RFタグによる3点認証のため、入庫時にローカルコードを発番し、同情報のRFタグを取り付ける作業が必要となっているため、製剤入庫時の輸血部の作業が必要となっている。	輸血入庫・タグ貼付
67	輸血	電子カルテシステム I社 携帯端末システム I社	輸血3点認証（実施入力）	F病院	患者リストバンド： 患者ID（ローカル） RFタグ(I-CODE SLI)およびNW-7 外来患者呼出受信機 患者ID（ローカル） NW7 輸血認証ラベル： 製剤番号（ローカル） RFタグ(I-CODE SLI)およびNW-7	輸血実施時に、血液製剤貼付の院内製剤番号、患者リストバンドの患者IDを読み、照合する。一致した場合、PDAログイン者での実施入力を行い、電子カルテに記録する。輸血の終了時には、再度、血液製剤のRFIDを読み込み終了記録を作成する。 ※外来患者の場合は、外来患者呼出受信機の電子ペーパーに表示されるバーコードで患者認証する。	・厳密には、「患者」ではなく、「患者リストバンド」による認証であるため、患者リストバンドが患者本人に確実に装着されていることを別工程で担保する必要がある。	輸血認証（開始&終了）
68	輸血	電子カルテシステム I社 携帯端末システム I社	輸血認証（病棟受け入れ時の製剤確認）	F病院	職員ネームカード： 患者ID（ローカル） RFタグ(I-CODE SLI)およびNW-7 輸血認証ラベル： 製剤番号（ローカル） RFタグ(I-CODE SLI)およびNW-7	病棟での血液製剤受け入れ時に、輸血部から払い出された血液製剤と支給票、輸血指示書を、職員2名で確認し、2人目の確認者のネームカードをPDAで読み込み、チェック記録を電子カルテに作成する。（1人目はPDAのログイン者） ※外来患者の場合は、外来患者呼出受信機に表示されるバーコードで患者認証する。	・血液製剤の確認は、職員2名による読み合わせと目視確認によるため、人的間違いの要素が残存する。	輸血ダブルチェック
69	輸血	電子カルテシステム I社 携帯端末システム I社	輸血副作用登録	F病院	輸血認証ラベル： 製剤番号（ローカル） RFタグ(I-CODE SLI)およびNW-7	輸血実施注の副作用評価時に、血液製剤の認証ラベルをPDAで読み込み、副作用の有無や内容を登録する。	・特になし	輸血副作用登録

70	検査	電子カルテシステム I社 携帯端末システム I社	採血管・検体採取容器認証	F病院	患者リストバンド： 患者ID（ローカル） RFタグ（I-CODE SLI）およびNW-7 外来患者呼出受信機 患者ID（ローカル） NW7 採取管ラベル： 採取管番号（ローカル） NW-7	病棟採血、外来処置室での採血時に、患者リストバンド（入院患者）または外来患者呼出受信機画面（外来患者）の患者IDのRFタグまたはバーコードと、検体検査（検査部、輸血部、薬剤部、病理部）の採取管コードを読み取り認証する。認証結果は電子カルテに記録され、認証時刻は検体採取時刻として、検査結果時系列表示の時刻にも利用する。	・本システムの構築後にLISが更新され、外来中央採血室での検査では、採血管準備装置から、UHF帯のRFタグ付の採取管ラベルが発行可能になり、これを活用した検体トレースを開始した。病棟の全採血に適用範囲を拡大するには、病棟のラベルプリンタで出力される臨時検査用の採取管ラベルにもUHF帯のRFタグ付ラベルが必要なほか、ベッドサイドでの採血時にはUHF帯のタグが読み取れるPDAの導入が必要とされている。	採血管・採取容器認証
71	電子カルテ	電子カルテシステム I社 携帯端末システム I社 生体情報モニタシステム d社	生体情報モニタ・患者登録	F病院	患者リストバンド： 患者ID（ローカル） RFタグ（I-CODE SLI）およびNW-7 外来患者呼出受信機 患者ID（ローカル） NW7 ベッドサイドモニタ： 装置番号（ローカル） RFタグ（I-CODE SLI）およびNW-7	入院患者にベッドサイドモニタを接続した際、装置に貼付したRFタグと患者リストバンドをPDAで読み込むことで、装置の紐付けを行い、バイタルデータを電子カルテの経過表に連携させる。 ベッドサイドモニタの交換時や取り外し時も、同様に、ベッドサイドモニタ貼付のRFタグを読み取ることで行う。 PDAシステム停止時のバックアップ手段として、電子カルテ端末から、病棟に整備した装置のバーコード一覧票を読み込むことでも登録・解除も可能としている。	・特になし	生体モニタ患者連携
72	手術	手術麻酔管理システム e社 携帯端末システム I社	入室患者認証	F病院	患者リストバンド： 患者ID（ローカル） RFタグ（I-CODE SLI）およびNW-7 外来患者呼出受信機 患者ID（ローカル） NW7 手術室入り口扉の識別子： 手術室番号（ローカル） RFタグ（I-CODE SLI）およびNW-7	手術患者が手術室に入室する際、当該手術室入口で、患者リストバンドと手術室ドアのRFタグをPDAで読み取る。PDAは手術麻酔管理システムへ照会し、その部屋の同システム端末で現に手術準備している患者と一致するかを照会し、一致する場合は、PDA画面に入室可の表示を行う。 （※臨時の部屋の入れ替えがあるため、割り振り情報ではなく、当該手術室で準備している患者IDを認証対象としている）	・特になし	手術室入室患者認証

73	物流	電子カルテシステム l社 滅菌管理システム f社	滅菌器材の使用登録	F病院	患者リストバンド： 患者ID（ローカル） RFタグ（I-CODE SLI）およびNW-7 滅菌器材の識別子： 器材番号（ローカル） RFタグ（I-CODE SLI）	・滅菌器材（鋼製小物）の個品は二次元コード（ローカルコード）により滅菌管理システムで管理されている。 ・手術用にキット化した段階でUFH帯のRFタグが付され、中央材料部でのトレースに利用されている。 ・同キットには、別途HF帯のRFタグも付され、患者への使用時には、患者リストバンドのRFタグと手術キットのRFタグを読み込むことで、滅菌材料の患者への使用記録を作成し、HIS端末から参照・トレース可能としている。	・現在、各鋼製小物へのマーキングは二次元コードで行っているが、新規購入した器材への刻印作業が時間的・費用的な負担となっている。	滅菌器材使用記録
74	物流	電子カルテシステム l社 医事会計システム l社 物流管理システム g社	医療材料の患者への使用実績の電子カルテ記録および医事システム連携 (※12月10日に構築完了し、運用開始のための院内調整の予定。)	F病院	医療材料消費回収シート： 発注伝票番号、発注数量、部署マスタコード、診療科マスタコード（ローカル）NW-7 物品マスタコード（JANコード） GTIN-13 患者ID（ローカル） CODE-39 物品在庫ユニークコード（ローカル） CODE-128およびQR	物流システムの物品マスタはGTIN-13が付されており、納品物検収時には、物流システムの発注情報の物品・数量が適切に納品されているが、納品物のGTIN-13をハンディターミナルで読み込み突合する。このとき、GTINコードで有効期限も読み込みチェックしている。 納品された物品には、院内のユニークコードが発番されたシールが貼付され、現場へ提供される。 現場では、消費時に部署・診療科・患者ID、使用日のバーコードが印刷された回収シートに物品のシールを貼付し、SPDセンターへ返却する。（一定金額以下の場合は、患者IDは無く、部署の粒度での管理） SPDセンターは返却された回収シートを読み込み、消費を管理する。 上記、読み込んだ結果は「医療材料資料記録」として電子カルテへ連携し、さらに医事会計システムにも連携し、レセプトの記載情報にも使	・医療材料は、診療現場の需要に応じて、迅速に登録する必要があるため、都度マスタメンテナンスするのが、SPD部門の大きな負担となっている。 ・医事会計システムの課題として、医事システムはローカルコードで管理されているが、複数規格存在する大量の医療材料を扱うにはコードの桁数が不足する。そのため、規格違いについて別のコードで1:N拡張しており、マスタ全体の見通しが悪くなっている。 ・SPDセンターで複数材料をセット化して払い出す場合、院内のユニークコードがセット単位になるため、セットの内訳を直接確認することが、現場レベルでは容易に行えない。そのため、医事課の会計担当が正しく材料が請求されているかを確認する際の突合が煩雑となる。	特材の使用登録
75	注射	電子カルテシステム l社 携帯端末システム l社	特性生物由来製品・生物由来製品ロット番号登録 (※構築完了し、運用開始のための院内調整中)	F病院	GS1複合シンボル (製品出荷時に付加)	PDAでの注射3点認証の開始実施時、薬剤マスタでロット管理が必要な薬剤の場合、GS1複合シンボルを読み取り、ロット番号を電子カルテに登録し、記録簿のデータを作成する。	・ロット番号の記録が必要な薬剤であるかどうかは、薬品マスタをメンテナンスして維持管理する必要がある。	特定生物由来材料ロット登録

76	放射線	電子カルテシステム l社 造影剤エビデンスシステム h社	CT、MRI造影剤副作用確認	F病院	RFタグ（製品出荷時に付加）	造影剤に付加されているRFタグが造影剤注入装置へのセット時に読み込まれる。造影検査実施時に、電子カルテの患者プロフィールに登録されている造影剤副作用情報をRIS経由で造影剤エビデンスシステムへ送信し、使用する造影剤に対するアレルギーのチェックを行い、警告/注入不可とする。	<ul style="list-style-type: none"> この仕組みのため、患者プロフィールの造影剤副作用登録をYJコードによりマスタ化した。今後、新規の造影剤が発売された際は、電子カルテと造影剤エビデンスシステムの双方を継続的にマスタメンテナンスする必要がある。 他施設での副作用歴も登録する必要があるため、電子カルテに登録する造影剤は、自施設採用薬のみではなく、全薬品の登録が必要であった。 過去の情報で粒度が不十分（「ヨード造影剤」など）な場合、チェックシステムとしては広くチェックする動作とするため、概して、警告が出やすくなる。 	CT、MRI造影剤
77	注射	電子カルテシステム j社	点滴・注射・3点認証	G病院	オーダー番号、患者番号（ローカル） NW7	点滴実施時に指示と点滴内容が あっているか確認する	-	
78	電子カルテ	電子カルテシステム j社	手術材料実績登録	G病院	GS1-128、GS1データバー、GS1データマトリックス、RFID（GS1 element string）	手術で使用した材料を、GS1バーコードまたはRFIDから使用実績登録する	<p>事前にマスタ登録されていない材料は、バーコード/RFID情報から自動で引き当てる ことができない。</p> <p>RFIDはバーコードを読むよりも素早く実績登録できて有用だが、貼付されている材料の数が少なく、活用に限界がある。</p>	
79	電子カルテ	電子カルテシステム j社	病理ラベル	G病院	オーダー番号（ローカル） NW7	採取検体の受付に使用	-	
80	輸血	電子カルテシステム j社 PDA j社	輸血3点認証（実施入力）	G病院	患者リストバンド： 患者ID（ローカル） NW7 輸血認証ラベル： 製剤番号（ローカル） NW-7	輸血実施時に、血液製剤貼付の院内製剤番号、患者リストバンドの患者IDを読み、照合する。一致した場合、PDAログイン者での実施入力を行い、電子カルテに記録する。	-	
81	輸血	輸血検査システム k社	製剤指示	G病院	GS1 Databar Composite	血液製剤の入庫、確保、出庫時の 情報取得、および認証	-	
82	輸血	輸血検査システム k社	製剤指示	G病院	オーダー番号（ローカル） 二次元バーコード	製剤依頼の特定に使用	-	
83	医事会計	医療事務システム j社	医事会計	G病院	患者番号（ローカル） NW-7	医事会計時に、患者番号を基本 カード（会計票）から読み取って いる	-	
84	医事会計	会計案内表示システム j社	会計受付・番号発券	G病院	患者番号（ローカル） NW-7	会計受付及び番号札発券のために 患者番号を読み取る	-	
85	電子カルテ	採取管準備システム l社	採血室・病棟採血で使用 する採血管・採尿カップの発 行、採取管居所情報管理	G病院	検体番号（ローカル） RFID	採取管を各部署で読み取り、採取 管の居所と進捗を管理する	手術室や外来診療室にRFID発行する装置が 未導入の為、その分の検体トレーサビリ ティーに課題 病棟での三点照合がバーコードを使用する方 法となっている為RFIDの活用が不足	
86	電子カルテ	内視鏡部門システム m社	受付登録	G病院	患者ID（ローカル） 一次元バーコード	検査受付の際にバーコード読み取 りにて受付処理を実施	-	

87	電子カルテ	内視鏡部門システム m社	内視鏡検査装置への患者情報入力	G病院	患者ID (ローカル) 一次元バーコード	検査開始前に内視鏡検査装置に患者情報を入力するのに使用 患者IDを読み取ることでデータベースより患者情報 (氏名、性別、年齢) を呼び出し可能	-
88	電子カルテ	内視鏡部門システム m社	洗浄履歴管理	G病院	内視鏡スコープ・洗浄機・ 洗浄員を識別する型番や ID、シリアルNo. RFID	スコープを洗浄する際に、"どのスコープを""どの洗浄機で""誰が"洗浄したかを記録する際に利用	ペンダから発行してもらったIDタグを利用しているが、消耗品であるため有償となっており、洗浄員の変更によりタグを新調するのが大変
89	電子カルテ	栄養管理システム n社	選択食状況登録機能	G病院	患者番号 (ローカル) Code39	患者様の食事選択メニューの選択状況を栄養管理システムへ登録する際に使用	-
90	電子カルテ	検体検査システム o社	検査システム全般	G病院	検体番号 (ローカル) NW-7	院内の他システムとの連携 ・電子カルテとの連携 ・TRIPSとの連携 ・検体の到着確認 ・検査データの表示 ・分析装置との連携 (検体測定) ・搬送ライン等との連携 (検体分注、搬送) ・検体ラベルの印刷	-
91	注射	NICU部門システム p社	注射薬の投与前認証	G病院	注射オーダー番号、患者番号 (ローカル) 二次元バーコード	注射指示に置いて注射薬の投与前に、看護師が「オーダー番号記載の注射ラベル」と「患者ID記載のリストバンド」で認証し、投与前間違いを防止している。	-
92	電子カルテ	健診システム q社	コスト表、検査内容確認書	G病院	患者番号 (ローカル) NW-7	検査実施時の患者認証に利用	-
93	電子カルテ	細菌検査システム r社	細菌検査機能	G病院	Code128、 検体番号 (ローカル) NW-7	細菌検査での検体呼び出し、分析装置との連携に使用	-
94	処方	薬剤部門システム s社	調剤支援 (散薬 水薬薬剤 チェック 麻薬払出 血液製剤 払出)	G病院	GS-1、 JAN13、 オーダー番号(ローカル) NW-7、 棚番号 (ローカル) JAN8	薬品チェック 麻薬・血液製剤の 処方呼出しと薬剤払出	-
95	物流	薬剤部門システム s社	在庫管理(発注管理、 納品管理、在庫管理)	G病院	GS-1、 JAN13、 オーダー番号(ローカル) NW-7、 棚番号 (ローカル) JAN8	在庫(発注 納品 在庫棚 番号)	-

96	電子カルテ	生理検査システム t社	生理検査オーダー受信、結果保存、レポート記載、実施送信	G病院	患者番号（ローカル） NW-7	医療機器でのオーダー取得のため	-
97	物流	ME機器管理システム u社	医療機器の識別（管理番号 入力の手軽化）	G病院	Code128	ME機器管理システムは、貸出・返却、使用実績管理、棚卸等医療機器の個体識別の為に管理番号を入力する頻度が高い為、医療機器に管理番号をバーコード化して貼付し、システムへの入力負荷の軽減とインプットミス防止に活用している。	-
98	物流	物流管理システム j社	定数カード	G病院	品目コード（ローカル） Code39	定数カード回収に基づく補充運用に使用	-
99	物流	物流管理システム j社	ロットラベル期限ラベル	G病院	滅菌機、滅菌時間、有効期間（ローカル） QR	機材の滅菌完了後に発行し、機材に添付	-
100	電子カルテ	分娩集中管理システム v社	患者属性情報	G病院	患者番号（ローカル） NW-7	患者ネームバンド等のIDを読み取り、電子カルテと連携の上患者属性をシステムに登録	-
101	電子カルテ	病理システム w社	受付画面や診断画面の表示	G病院	ローカルコード Code128（病理ラベル、染色依頼書、画像印刷バーコード上） ローカルコード QR（スライドラベル上）	バーコード読み取りで、該当オーダー（該当標本）受付がめには診断画面を開くことができます。	-
102	電子カルテ	病理システム w社	スキャナ取り込み	G病院	ローカルコード Code128（病理ラベル、染色依頼書、画像印刷バーコード上）	A4用紙に1次元バーコードが印刷されている場合、連続スキャナ取り込みすると、スキャン画像を各標本番号に自動で登録できます。	-
103	電子カルテ	病理システム w社	ログインユーザ切替	G病院	職員ID（ローカル） QR（利用者ラベル上）	機能メニューを切り替える時にログインユーザを切り替える機能があり、バーコードを読み取ったユーザに切り替えます。	-
104	電子カルテ	病理システム w社	貸出画面の表示	G病院	貸出番号（ローカル） Code128	バーコード読み取りで、該当伝票（貸出番号）の貸出画面を開くことができます。	-
105	電子カルテ	病理システム w社	自動フロスト印字	G病院	ローカルコード QR（カセット上）	カセットのバーコード読み取りで、カセットに対応したラベル情報を自動でフロスト印字します。	-
106	電子カルテ	電子カルテシステム x社	職員バーコードラベル	H病院	CODE128	職員認証に使用する	-
107	電子カルテ	電子カルテシステム x社	リストバンド	H病院	CODE128	患者認証に使用する	-

108	電子カルテ	電子カルテシステム x社	受診票	H病院	CODE128	各受付における患者の到着確認に使用する	
109	電子カルテ	電子カルテシステム x社	汎用ラベル	H病院	CODE128	患者認証に使用する	
110	輸血	輸血部門システム y社	自己血輸血ラベル	H病院	CODE128	自己血輸血における患者認証に使用する	
111	処方	処方分包装機システム z社	自己血輸血ラベル	H病院	CODE128	自己血輸血における患者認証に使用する	
112	注射	注射支援システム z社	輸液ラベル (注射支援システムラベルプリンタ)	H病院	CODE128	注射の実施入力における照合に使用する	
113	注射	電子カルテシステム x社	輸液ラベル (病棟等のラベルプリンタ)	H病院	CODE128	注射の実施入力における照合に使用する	
114	輸血	輸血部門システム A社	交差試験適合書	H病院	NW-7	輸血の実施入力における照合に使用する	
115	輸血	輸血部門システム A社	輸血用製剤バック	H病院	NW-7	輸血の実施入力における照合に使用する	
116	処方	電子カルテシステム x社	処方バーコードシート	H病院	CODE128	処方の実施入力における手技コード、詳細コード、薬品ID、器材コードの入力に使用する	
117	検査	採血管準備システム B社	検体スピッツ (BC・ROBO)	H病院	NW-7	採血における採血管の照合に使用する	
118	検査	電子カルテシステム x社	検体スピッツ (病棟等のラベルプリンタ)	H病院	NW-7	採血における採血管の照合に使用する	
119	処方	電子カルテシステム x社	院外処方箋QRコード	H病院	JAHIS院外処方箋2次元シンボル記録条件規約Ver.1.6	院外薬局において、院外処方箋の内容の読み込みに使用する	(保険証番号の枝番追加により、Ver.1.4からVer.1.6に変更予定)

物品マスタ

※本資料は閲覧用に記載を一部変更しております。

2021年2月22日 更新

No.	システム名 /バージョン (ベンダー)	マスタ名	病院	関連機能	登録品目数
1	物流管理システム A社	医療材料マスタ (SPD)	A病院	単独 (入出庫のみ)	16,871品目
2	物流管理システム A社	医薬品マスタ (SPD)	A病院	単独 (入出庫のみ)	2,083品目 (内服、外用、注射)
3	電子カルテシステム B社	医薬品マスタ	A病院	処方・注射オーダー	1,800品目 (内服、外用、注射)
4	輸血管理システム B社	輸血マスタ	A病院	<ul style="list-style-type: none"> ・輸血パックの2次元バーコード(日赤) ・【new】輸血パックの2次元バーコード(NDD) 	<ul style="list-style-type: none"> ・GS1が使用されているのは左記の2点 ・マスタには使用していません。 ・バーコードの規格は「TBCCHKM」というマスターで制御しているが、特殊なバーコード(GS1の2次元等)についてはプログラムで対応している
5	輸血管理システム C社	輸血マスタ	A病院	<ul style="list-style-type: none"> ・マスタ名称：商品マスタ ・項目名称：JANコード、販売包装単位コード、調剤包装単位コード 	-

6	薬剤部門システム 社	D 薬剤部門マスタ	A病院	調剤支援、服薬指導、麻薬管理	-
7	注射支援システム E社	注射部門マスタ	A病院	注射剤取り揃え	・薬品マスタにGS1コードを登録する項目はある。 2019/7/30ではこのGS1コードを登録する項目には何も入れていない。 薬品照合や帳票等ではGS1コードを使用していない。
8	電子カルテシステム F社	各種オーダーマスタ（処方、注射、画像、検査、汎用、手術）	B病院	処方・注射オーダー、処置実施入力、検査等実施入力、手術実施入力	医薬品：約24,000品目 医療材料：約25,000品目
9	医療事務システム F社	点数マスタ	B病院	会計計算、保険請求	医薬品：約31,000品目 医療材料：約17,000品目
10	物流管理システム F社	品目マスタ(医療材料・医薬品・試薬・ガスなど)	B病院	請求・払出・発注・納品	医療材料：約35,000品目 医薬品：約7,000品目 検査試薬：約2,800品目
11	調剤支援システム G社	医薬品マスタ	B病院	払出・照合作業	医薬品：約7,000品目
12	手術管理システム H社	材料マスタ	B病院	手術予定・術式マスタ(患者別消費実績)	医療材料：約35,000品目
13	物流管理システム I社	医療材料 一般消耗品マスタ	C病院	入札・発注・納品・供給・棚卸	約20,000品目
14	電子カルテシステム I社	医薬品マスタ	C病院	入札・発注・納品・供給・棚卸	約7,000品目

15	血液浄化療法業務システム J社	透析マスタ	C病院	透析関連業務	-	
16	滅菌システム K社	滅菌物関連マスタ	C病院	電子カルテ連携 薬局機器等制御	-	
17	電子カルテシステム I社	注射薬マスタ 処方薬マスタ 処置薬マスタ	C病院	処方・注射・処置オーダ実施	処方：4,703品目 注射：993品目	
18	輸血検査システム I社	輸血マスタ	C病院	輸血オーダ、実施、ロット管理	-	
19	手術部門システム I社	手術関連薬品マスタ 手術関連医療器材マスタ	C病院	手術実施	-	
20	薬剤部門システム D社	処方薬マスタ 注射薬マスタ	C病院	処方・注射オーダ 処方解析・処方箋出力 各機器制御	電子カルテ 薬品マスタとほ ぼ同数	
21	薬剤部門システム D社	処方薬マスタ 注射薬マスタ	C病院	調剤支援システム	電子カルテ 薬品マスタとほ ぼ同数	
22	JITSシステム F社	診療材料類マスタ	D病院	バーコード IDカード、商品ラベル：CODE128 医事シール：NW-7	61,780件	※PFI事業者分診材、薬品
23	薬品管理システム L社	採用品マスタ (薬品のみ)	D病院	GS-1(GTIN)、GS1-128、JAN NW7(商品コード(ローカル))	4,433件	※PFI事業者分診材、薬品
24	検体検査システム M社	検査項目マスタ	D病院	ラベル発行	-	※部門システム分
25	検体検査システム M社	材料マスタ	D病院	ラベル発行	-	※部門システム分
26	検体検査システム M社	容器マスタ	D病院	ラベル発行	-	※部門システム分

27	検体検査システム M社	コード変換マスタ	D病院	ラベル発行	-	※部門システム分
28	細菌検査システム M社	検査項目マスタ	D病院	ラベル発行	-	※部門システム分
29	細菌検査システム M社	目的菌マスタ	D病院	ラベル発行	-	※部門システム分
30	細菌検査システム M社	材料マスタ	D病院	ラベル発行	-	※部門システム分
31	細菌検査システム M社	診療科マスタ	D病院	ラベル発行	-	※部門システム分
32	細菌検査システム M社	病棟マスタ	D病院	ラベル発行	-	※部門システム分
33	細菌検査システム M社	医師マスタ	D病院	ラベル発行	-	※部門システム分
34	細菌検査システム M社	基礎疾患マスタ	D病院	ラベル発行	-	※部門システム分
35	細菌検査システム M社	感染症マスタ	D病院	ラベル発行	-	※部門システム分
36	細菌検査システム M社	感染症マスタ	D病院	ラベル発行	-	※部門システム分
37	細菌検査システム M社	部位マスタ	D病院	ラベル発行	-	※部門システム分
38	統合画像情報システム N社	-	D病院	-	対象無し	※部門システム分
39	統合画像情報システム O社	-	D病院	-	対象無し	※部門システム分

40	文書管理システム P社	-	D病院	-	対象無し	※部門システム分
41	病理検査システム Q社	-	D病院	-	対象無し	※部門システム分
42	栄養管理システム R社	-	D病院	-	対象無し	※部門システム分
43	看護部門管理システム S社	-	D病院	-	対象無し	※部門システム分
44	透析通信システム J社	-	D病院	-	対象無し	※部門システム分
45	診察待表示システム I社	-	D病院	-	対象無し	※部門システム分
46	調剤支援システム G社	薬品マスタ	D病院	処方・注射オーダー		※部門システム分
47	内視鏡部門システム T社	-	D病院	-	対象無し	※部門システム分
48	機能検査ファイリングシステム/脳波解析システム U社	-	D病院	-	対象無し	※部門システム分
49	電子カルテシステム B社	医薬品マスタ	E病院	処方オーダー、注射オーダー	-	
50	電子カルテシステム B社	材料マスタ	E病院	実施オーダー	-	
51	電子カルテシステム B社	試薬マスタ	E病院	検査オーダー	-	
52	電子カルテシステム I社	注射マスタ	F病院	注射オーダー	2,067 1,280（採用終了等を除く）	

53	電子カルテシステム I社	処方マスタ	F病院	処方オーダー	6,075 3,791 (採用終了等を除く)
54	電子カルテシステム I社	処置材料マスタ	F病院	処置オーダーの実施入力	18,439 18,373 (採用終了等を除く)
55	電子カルテシステム I社	製剤マスタ	F病院	輸血オーダー	150
56	物流管理システム V社	物品マスタ	F病院	医療材料の患者への使用実績の電子カルテ記録および医事システム連携	18,367
57	薬剤物流システム W社	物品マスタ	F病院	薬剤の購入・払い出し業務等	6,103 2,138 (採用終了等を除く)
58	電子カルテシステム X社	各種オーダーマスタ (処方、注射、画像、検査、汎用、手術)	G病院	処方・注射オーダー、処置実施入力、検査等実施入力、手術実施入力	医薬品：約26,000品目 医療材料：約12000品目
59	医療事務システム X社	点数マスタ	G病院	会計計算、保険請求	医薬品：約31,000品目 医療材料：約17,000品目
60	物流管理システム X社	品目マスタ (医療材料・医薬品・試薬・ガスなど)	G病院	請求・払出・発注・納品	品目数：約48,000品目
61	調剤支援システム Y社	調剤支援マスタ、在庫管理マスタ	G病院	調剤支援機器 処方せん等帳票発行 棚卸	医薬品：約38,870品目
62	手術管理システム Z社	薬剤マスタ	G病院	手術管理機能	電子カルテの手術薬剤マスタと同期
63	電子カルテシステム a社	注射薬品マスター	H病院	注射オーダー	
64	電子カルテシステム a社	処方薬品マスター	H病院	処方オーダー	
65	電子カルテシステム a社	一般名処方薬品マスター	H病院	処方オーダー	

66	電子カルテシステム a社	器材マスター	H病院	検査、処置オーダー	
67	電子カルテシステム a社	検査薬剤マスター	H病院	検査オーダー	
68	電子カルテシステム a社	手術材料マスター	H病院	手術オーダー	